生物多様性ふなばし戦略（案）に対する意見の募集結果について

生物多様性ふなばし戦略（案）に対する意見募集について、ご協力いただきありがとうございました。お寄せいただいたご意見およびそれに対する本市の考え方について、取りまとめを行いました。

1. 実施概要

（1）意見の募集期間

- ・平成28年7月1日（金）から8月1日（月）

（2）意見の募集方法

- ・広報ふなばし（7月1日号）および市ホームページにパブリック・コメントおよび説明会実施のお知らせ掲載
- ・環境政策課、行政資料室、船橋駅前総合窓口センター、各出張所・公民館・図書館、ホームページにおいて、戦略（案）と関係資料を公表

（3）意見を提出することができる方

- ・市内に住所を有する方
- ・市内に通勤または通学されている方
- ・戦略（案）に関し利害関係を有する方（市内で事業を営む方など）

（4）意見の提出方法

- ・郵送、ファックス、電子メール、直接持参

（5）説明会

戦略（案）に関する説明会を以下のとおり3回実施

- ・高根台公民館
日時：平成28年7月5日（火）14時～15時20分
参加者：8名
- ・東部公民館
日時：平成28年7月7日（木）14時～15時10分
参加者：10名
- ・中央公民館
日時：平成28年7月9日（土）10時～11時5分
参加者：8名

（6）意見総数

- ・25件

2. ご意見の概要と市の考え方

※いただいたご意見を内容ごとに整理・分類した上で、ご意見に対する市の考え方を示しています。なお、ご意見は概要のみ掲載しています。

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	第1章 (1)	海から川を中心に湿地や森林を含んだ広い範囲をいろいろなタイプの自然 (P2) に、湿地を重要な場所として加える。	ご意見を受け、湿地を加えさせていただきます。
2	第1章 (1) (2)	(P2～P5)「生物多様性」とは何ですか？聞かれた市民等の方が、身近な言葉で答えたらどうなるか、船橋市でも集めてみるとおもしろいと思います。	イベント時に実施するアンケート作成の際に参考とさせていただきます。
3	第2章 (2)	「P16の調査地域」、ほとんど全部歩いていますが、生物多様性を実感できるような、もう少し連続的なコリドーでの調査はなかったのでしょうか？	指標種を用いたモニタリングを実施する際に参考とさせていただきます。
4	第2章 (2)	「P17に生物種名」が並んでいますが、動植物全体の行動・移り変わりなどがイメージしにくいのが残念です。何月に何回くらいどのような方法で調査されたのかも知りたいところです。	平成 25、26 年度に実施した自然環境調査は春夏秋冬全ての季節で行っており、ご指摘の表については、その結果を反映したものです。今後、季節での移り変わりを表現する資料を作成する際には、どの季節で見つかったのかということも考慮いたします。
5	第2章 (2) (3)	船橋市は地域によってかなり状況が異なっていると思うので、地域ごとの重点的な取組を検討してほしい。	生物多様性ふなばし戦略(案)においては、地域ごとにではなく市の自然環境を主な地形の要素ごとに区分し、その区分ごとに生物多様性の現状と課題を整理しました。この現状と課題を受けた取組を整理し、その施策のなかから重点的な取組を設けております。
6	第2章 (3)	「P19. 24. 27 などの地図」、具体的な地名などが入っていないと昔と今と比較しづらいですね。	「明治時代初期～中期の状況」と「現在の状況」は同一の範囲を示したものであり、地名については現在の地名を記載しております。
7	第2章 (4)	(P29) No. 2 に関連して、生物多様性の取り組みとは何ですか？ 特に事業活動と生物多様性との関係性についてもう少し詳しく記述があると、充分認識している事業者が少ないという背景がわかるかも知れないと思いました。	第5章施策の展開において、事業者に期待する取組を記載しておりますので、そちらをご参照ください。 なお、重点的な取組として「事業者を対象とした生物多様性に関する普及啓発」を実施し、事業者への普及啓発を推進してまいります。

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
8	第4章 (3)	(P40～P41) 特に、短期目標では、見直し時期も明確に記載しておく方が親切ではないでしょうか。全体的に時系列が視覚的にわかるようにすると見やすいと思います。	ご意見を踏まえ、追記させていただきます。
9	第5章 (1)	三番瀬をラムサール条約に登録する方向で、船橋市としても望むのであれば、水鳥の生息状況をのみならず、生物・自然・民族文化人類学・地形・歴史・芸術を網羅して検討する必要があると考えます。	三番瀬のラムサール条約を目指すに当たり、参考にさせていただきます。
10	第5章 (1)	青潮による生物の壊滅被害をどう対処するか、という課題が有るとお聞きしました。改善策としては、東京湾の流れ込む河川を持つ各自治体（千葉市、浦安市、市川市、船橋市、習志野市）が、水質改善に取り組むと良いと考えます。	青潮対策として、市だけでなく、市民や事業者のみなさまのご協力も頂きながら、干潟・浅海域への流入水質を改善してまいります。 また、千葉県、近隣自治体および漁業関係者との連携も図ってまいります。
11	第5章 (1)	“生物多様性”という言葉そのものが極めて難解です。じゃ～どうすればいいの？というフツウの市民にとっての疑問が、これを読むとますます混乱するのでは、という部分もあちこちに見られます。例えば「P39のコラム、グリーンインフラ」、もっと文章のメリハリをはっきりと簡潔に説明できたのでは？	ご意見を踏まえ、文章を見直しさせていただきます。
12	第5章 (1) (2)	市内全域の環境や生物に関する情報を収集して記録し、そして発信もするような、施設あるいは機関の発足が望まれる。“ふなばし三番瀬環境学習館”には期待しているが、三番瀬を対象とした施設であると思われるので、今回の戦略策定を機に、実現に向けて検討していただきたい。	環境政策課が市内の自然環境調査を実施し、その結果を公表しております。また、今後は、市民参加の要素も取り入れた指標種を用いたモニタリングを実施し、その結果も発信していきたいと考えております。

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
13	第5章 (1) (2)	第5章において施策が羅列されているが非常にわかりにくい。既に作成している計画とどこが違うのか。施策ごとに「新規」「拡充」「継続」といった区分づけをするなりして市民にとってわかりやすいものにしてほしい。	市の既存の計画には環境行政全般の基礎となる環境基本計画があり、そこには生物多様性に関する施策も含まれております。生物多様性ふなばし戦略（案）は、生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画であるため、既存の計画に含まれる生物多様性に関する施策を整理しつつ、新たな施策も加えております。わかりにくいというご指摘については、レイアウトを工夫させていただきます。
14	第5章 (1) (2)	第5章「施策の展開」の記述終わりが、「必要です」「努めます」「図ります」「目指します」「検討します」等の無責任な言葉のオンパレードで締めくくっている。真摯に実現を図るなら、明確に「行う」「実施する」等書き改めるべきである。	ご意見を受け、表現を再考させていただきます。 なお、本戦略では、現状では実施が難しいと考えられる取組についても、今後の方向性を示すという観点から記載しており、そういった取組については、「検討します」といった表現にしております。
15	第5章 (4)	P58 戦略管理指標に「ミヤコドリの個体数」があげられているが、干潟環境の保全を考えると、ミヤコドリ1種にとらわれず、「シギ・チドリ類の個体数」とする方がよい。	平成22年に環境省が公表したラムサール条約湿地潜在候補地に三番瀬が選定された際、その理由の一つとしてミヤコドリの1%基準クリアが挙げられました。指標の「ミヤコドリの個体数」については、三番瀬のラムサール条約登録を見据え、この基準を維持していくことを目標として環境基本計画でも設定しているため、（案）のとおりとし、変更はしないものとさせていただきます。
16	第5章 (4)	緑の基本計画と関連すると思うが、市全域の緑量をキープし、また増やしていくことが望まれる。公園・緑地の整備だけでなく、多様な緑の増加を検討するべきであり、戦略管理指標の中に、「緑被率の増加」を加えてはいかがだろうか。	ご意見を受け、市内にある樹林地を維持・保全するため、都市緑地や指定樹林といった保全施策を実施している面積を増やすことを目標とし、「樹林地を維持・保全するための施策の実施面積」を指標として追加させていただきます。

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
17	第5章 (4)	生物多様性の保全にとって、最も重要な点は、一定の環境が保持されることである。P40, 41「基本方針①の具体的な施策」において、肝要な①-1 樹林地の保全、①-3 草地の保全の戦略管理目標が明示されていないことは驚くべきことで、真摯にその実現を図るのであれば、最小限上記項目に関して【年度別の定量的な達成目標】を明確に記載すべきであると考えます。	ご意見を受け、市内にある樹林地を維持・保全するため、都市緑地や指定樹林といった保全施策を実施している面積を増やすことを目標とし、「樹林地を維持・保全するための施策の実施面積」を指標として追加させていただきます。草地については、今後の参考とさせていただきます。
18	第5章 (4)	第5章「施策の展開」全般についても、全て【年度別の定量的な達成目標】が明らかにされていなければ「絵に描いた餅」で改めて戦略を作成する意義（実現する可能性）は乏しいと考える。【年度別の定量的な達成目標】を明示するかどうか、市の「生物多様性」に対する真摯度のバロメーターを示すものである。	現時点で数値化が可能なものは数値目標を設定しておりますが、他の取組に関しても施策を展開していく中で数値化を検討してまいりますので、そのことを明記させていただきます。
19	第5章 (4)	「戦略管理目標」に、生物多様性の保全と直接結びつかないもの（こじつけ）や、既に他の計画項目になっているものが見受けられる。項目を絞って生物多様性の保全に重要な事項に限定し、確実にその実現・向上を図るべきである。あれもこれも上げても「二兎を追う者は一兎をも得ず」の例えもある。（削除すべき例：・水質に関する項目 ・潮干狩り入場者数 ・環境フェアに入場者数 等）	第5章施策の展開においては目指す将来像に向けた取組を網羅的に示したものであり、特に重点的に行っていく取組については、重点的な取組としております。 なお、現時点で数値化が可能なものは数値目標を設定しておりますが、施策を展開していく中で数値の妥当性について検討してまいります。
20	第6章 (1)	(P61～P62) それぞれの主体者がばらばらにならないように、是非ネットワークで情報共有ができるようなしくみを作って、推進していく地盤作りをお願いします。そのためにも、めんどろでも、顔の見える共通のテーブルが必要になると思います。	ふなばし三番瀬環境学習館に設置する生物多様性情報室において、各主体が情報交換の機能を設けることを検討してまいります。

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
21	第6章 (2)	費用対効果をどのように確認するのか聞きたい。	効果の確認としては、戦略の進捗状況をPDCA サイクルを用いて把握し、そこで生じた課題などは今後の取組に改善策として反映していきます。また、戦略管理指標として数値目標を設定しているため、その達成状況も確認してまいります。
22	第6章 (2)	本戦略の進行管理が5年毎というのは驚きで、着実な目標実現を図るためには、最低でも2年毎に進捗度チェック、方針の見直・徹底を実施しなければ実現は程遠いものになることは目に見えている。2年毎の見直しに改めるべきである。	進捗状況の確認については、5年毎ではなく、毎年度行います。見直しについては、おおむね5年毎としておりますが、必要が生じればそれよりも短い期間で行います。
23	その他	この計画を作るにあたってどの程度の費用がかかったか知りたい。概算で構わないので、人件費を含めた費用を計画に記載してほしい。	平成 25、26 年度に実施した自然環境調査を含めて 4 か年の委託契約をしており、その委託費は 33,102,300 円です。この金額には自然散策マップのリニューアルといった業務の費用も含まれます。人件費については、計画策定に専属で従事しているわけではないため、算定できません。また、計画へ費用を記載することは、市における生物多様性の保全および持続可能な利用に関する基本的な事項を定めるという計画の趣旨にはそぐわないと考えられるため、行わないものとさせていただきます。
24	その他	私の夢は海老川をカヌーで川下りすることです。自然を求めて他の地へ旅に出なくても、船橋市にいながら旅の楽しさを満喫出来るようになると良いと思います。	生物多様性を活用した観光の振興にも取り組んでまいりたいと考えております。
25	その他	工業から環境産業へ移行して行くのだろうと感じています。	船橋市は、首都圏屈指の都市として、生物多様性を持続的に活用し、環境に十分に配慮したまちづくりを推進してまいります。